

感染症流行予測調査（日本脳炎感染源調査）

【保健衛生室】

竹内 功二

1 はじめに

感染症流行予測調査事業は、厚生労働省の委託による事業で、集団免疫の現状把握及び病原体の検索等の調査を行い、各種疫学資料と併せて長期的視野に立ち、総合的に疾病の流行を予測することを目的としている。平成 27 年度、国立感染症研究所との連携のもと、感染源調査として、日本脳炎ウイルスの増幅動物である豚の血清中日本脳炎ウイルス抗体価を赤血球凝集抑制抗体 (HI 抗体) 法により測定し、間接的に日本脳炎ウイルスの流行状況を調査したので報告する。

2 調査方法

1) 調査期間 平成 27 年 7 月から 9 月中旬まで

2) 材料

県内のと畜場に出荷された肥育豚（生後約 6 ヶ月）を対象とし、1 回 10 頭、合計 8 回 80 頭の採血を行った。

3) 方法

常法に基づき、HI 抗体法を用いた豚血清中

の抗体価測定を行い、判定が 1 : 10 以上を陽性とした。

さらに、1 : 40 以上の場合には、2ME 感受性試験を行い I g M 抗体価の確認を行った。

3 結果及び考察

下表に示すように、総数で、豚血清中の HI 抗体価保有率が 90% と高率であった。また、調査期間を通じて、7 月 22 日採血分を除き、80% 以上の高い値であった。HI 抗体価が 40 以上の検体は 1 件であり、昨年に比べて大幅に減少した。これについて、2ME 感受性試験を行ったところ、陽性は認められなかった。

4 まとめ

7 月から 9 月にかけて日本脳炎ウイルスに感染している豚が存在したことから、感染蚊による活動があったことが推測された。日本脳炎ワクチンを接種されていない方や乳幼児は蚊に刺されないよう注意が必要である。

平成27年度日本脳炎感染源調査結果

採血日			検査頭数	HI抗体価							HI抗体保有率 (%)		2ME感受性試験	
年	月	日		< 10	10	20	40	80	160	320	≥ 640	HI陽性	2ME陽性	
2015	7	1	10		10						100	%		
	7	15	10	2	6	2					80	%		
	7	22	10	5	5						50	%		
	8	5	10		9		1				100	%	1	0
	8	19	10		10						100	%		
	8	26	10		7	3					100	%		
	9	2	10		9	1					100	%		
	9	16	10	1	8	1					90	%		
	合計		80	8	64	7	1				90	%	1	0